

第81期 中間報告書

2010年4月1日～2010年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当社の事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期決算の事業概況をご報告申し上げます。

当社グループが属する第2四半期のコネクタ業界におきましては、第1四半期に引き続き、堅調に推移しているものの、急激な円高の進行、また一部新興国を除く世界的景気回復の足踏み感等、不透明感が強まっています。

このような状況の中で、当社グループは4月からスタートした中期経営計画「Plan80」の初年度にあたり、「攻めへの転換で真の黒字化」を基本方針に掲げ、自助努力とパナソニック電気株式会社との協業によりスピードをもって、①新製品・新市場の開拓、徹底した製品コストの追求、②スピード第一の行動・意識改革、③「Quality」（品質改革）＆「ECO」（環境配慮）、④グループ分業体制の確立とグローバル展開力の強化を重点戦略に取り組んでまいりました。

またグループものづくり改革の一環として、平成22年10月1日に連結子会社である「あずさ電子工業株式会社」と「本多興産株式会社」が合併し、「安曇野本多通信工業株式会社」が発足しました。



景気動向全般における不透明感は増してきておりますが、第3四半期以降も、各種施策をスピードアップし、中期経営計画「Plan80」の前倒しに取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

佐谷 紳一郎

経営成績

当第2四半期連結累計期間（2010年4月1日～2010年9月30日）の連結業績は、産業機器分野やパナソニック電工株式会社から譲り受けた事業が第1四半期に続いて堅調に推移し、売上高は、7,149百万円（前年同四半期比56.6%増）となりました。



HDRコネクタ



PCRコネクタ

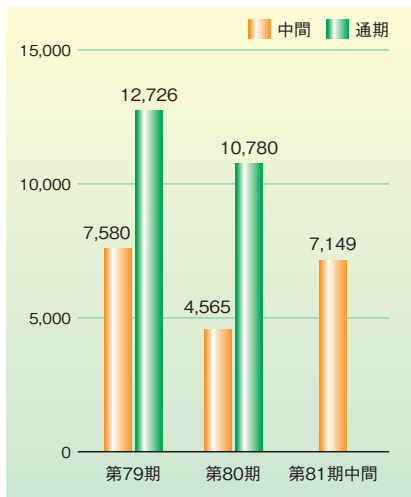


SDメモリアカード用ソケット

利益面では、各種経費の抑制に努め、営業利益は312百万円（前年同四半期は376百万円の営業損失）となりました。一方、円高による為替差損や投資有価証券の評価減等により経常利益は275百万円（前年同四半期は323百万円の経常損失）、四半期純利益は214百万円（前年同四半期は384百万円の四半期純損失）となりました。

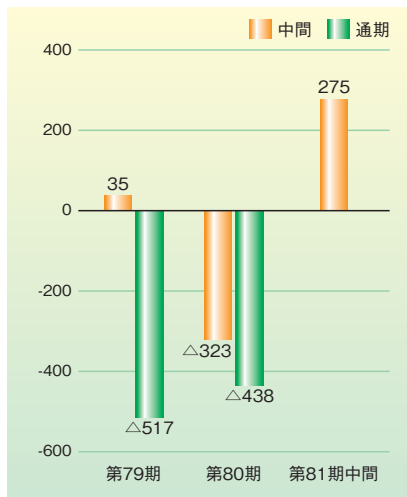
売上高(連結)

(単位：百万円)



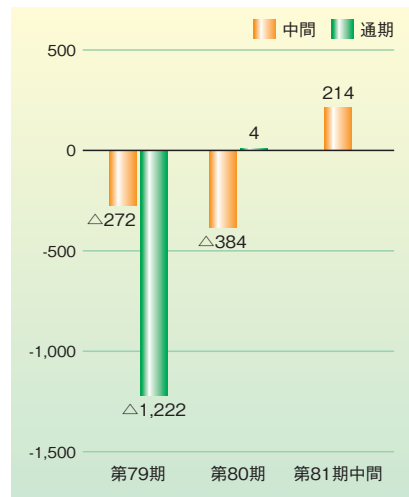
経常利益(連結)

(単位：百万円)



四半期(当期)純利益(連結)

(単位：百万円)



Plan
80

中期経営計画（2010年度～2012年度）

2010年度よりスタートいたしました、Plan80中期経営計画について第2四半期の進捗をご報告申し上げます

ありたい姿	【お客様密着型のSegments No1企業】
経営目標	2012年度 売上高：150億円+α 営業利益：5%

Plan
80

1. 上期決算のポイント

- 産業機器向け・パナソニック電工(株)からの譲受製品が好調
- 大幅な増収増益
- フリーキャッシュ・フロー・財務体質が改善



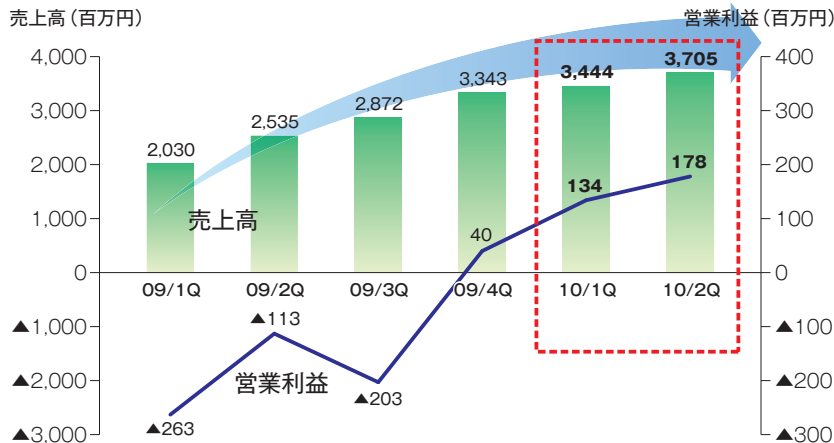
中期経営計画“Plan80”の
初年度を順調にスタート
真の黒字化へ

Plan
80

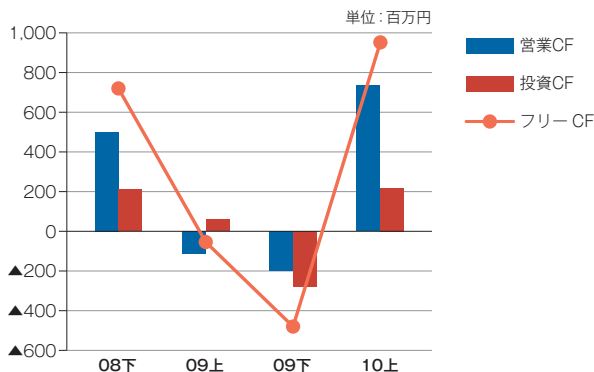
2. 上期業績と推移

上期業績は、売上高前年同期比56.6%増、営業利益、
経常利益、純利益、いずれも約6億円改善致しました。
主要要因として、産業機器向け製品とパナソニック

電工(株)より譲り受けた製品が好調であったこと、更に
引き続き諸経費の抑制に取り組んできたことが挙げら
れます。



フリーキャッシュ・フロー 952百万円 前年同期比 +1,006百万円



黒字化により財務体質が強化

単位：百万円

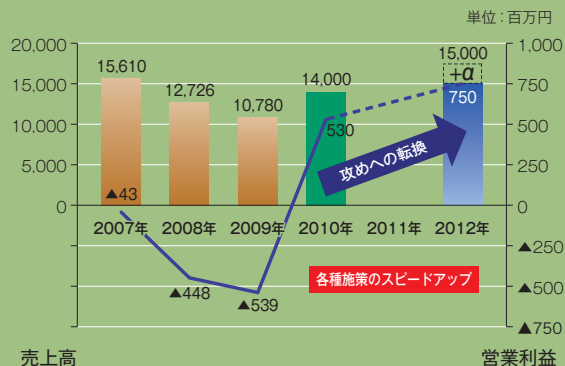
	2010/3末	2010/9末	増減
流動資産	6,941	7,427	486
現金及び預金	2,187	2,698	510
受取手形及び売掛金	2,882	2,985	102
固定資産	2,649	2,209	▲440
資産合計	9,591	9,637	46
流動負債	3,219	3,376	157
固定負債	2,102	1,859	▲242
純資産合計	4,269	4,401	131
負債純資産合計	9,591	9,637	46
自己資本比率	44.0%	45.6%	1.6%
有利子負債	2,278	1,901	▲377

営業活動によるキャッシュ・フローの大幅改善等により、フリーキャッシュ・フローは、2009年上期比約10億円改善致しました。また、有利子負債の圧縮など財務体質が強化されました。

各種施策のスピードアップにより、中期経営計画Plan80の前倒しに取り組んでまいります。

下期重点施策

- 製品戦略：創出3分野（車載、デジタル機器、新エネルギー）で増販
- 製造戦略：グループ生産体制の再編により分業体制を確立
 - ・安曇野本多通信工業は多品種少量の“コンビニ拠点”へ
 - ・中国深圳工場は中量品の“一貫生産拠点”へ
- 販売戦略：国内外でパナソニック電工㈱と連携
 - ・創出分野・新興国をターゲットに更なる増販を狙う

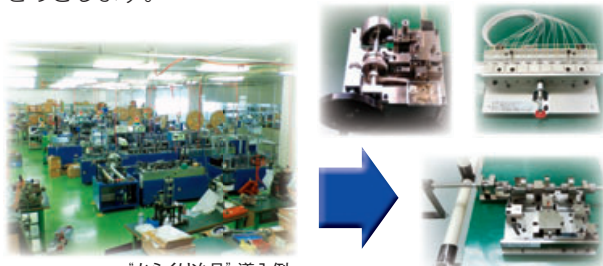


グループおよび製品紹介

本多通信グループ紹介 ~安曇野本多通信工業(株)~

平成22年10月1日に連結子会社である「あずさ電子工業(株)」と「本多興産(株)」が合併し、「安曇野本多通信工業(株)」が発足しました。

新会社は、経営効率の向上を図るとともに、国内市場向け多品種少ロット生産品を、からくり治具の活用などにより短納期・適正価格でお届けする“コンビニ拠点”をめざします。



“からくり治具”導入例

量産品の主力拠点である深川工場の機能を強化拡充することと合わせ、グループものづくり体制を確立してまいります。



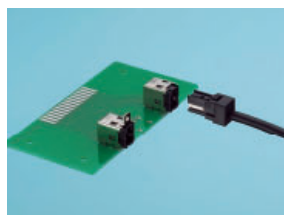
安曇野本多通信工業(株)設立式

製品紹介

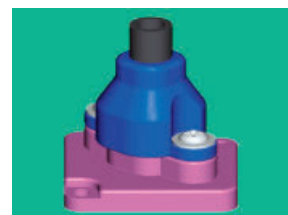
成長戦略の一環として、今後、伸長が期待できる「車載・デジタル機器・新エネルギー」に向けて新製品開発を加速します。

【車載分野】

進化するカーエレクトロニクスに高速伝送技術を展開します。



車載高速伝送コネクタTAKシリーズ



車載カメラ用コネクタ

【デジタル機器分野】

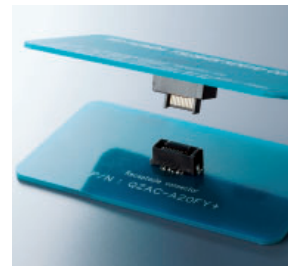
SDカードソケット用やデジタルカメラ向けI/Oコネクタなどで、耐EMI特性を特長とした新製品を展開してまいります。



SDカードソケット

【新エネルギー分野】

太陽光発電、スマートグリッドなど新エネルギー分野にフィットする製品で、地球環境への貢献を進めます。



スマートメーター向け
フローティングコネクタ

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前第2四半期末 2009.9.30現在	当第2四半期末 2010.9.30現在	前期末 2010.3.31現在
(資産の部)			
流動資産	6,512	7,427	6,941
現金及び預金	2,414	2,698	2,187
受取手形及び売掛金	2,233	2,985	2,882
たな卸資産	1,684	1,637	1,598
その他	187	114	280
貸倒引当金	△7	△7	△8
固定資産	2,958	2,209	2,649
有形固定資産	2,157	1,617	2,009
無形固定資産	81	93	80
投資その他の資産	719	499	559
資産合計	9,470	9,637	9,591
(負債の部)			
流動負債	3,183	3,376	3,219
固定負債	2,339	1,859	2,102
負債合計	5,522	5,236	5,321
(純資産の部)			
株主資本	3,735	4,308	4,125
資本金	1,501	1,501	1,501
資本剰余金	1,508	1,508	1,508
利益剰余金	727	1,299	1,116
自己株式	△2	△2	△2
評価・換算差額等	155	91	90
その他有価証券評価差額金	15	△16	△15
為替換算調整勘定	139	107	106
少数株主持分	55	2	53
純資産合計	3,947	4,401	4,269
負債純資産合計	9,470	9,637	9,591

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2009.4.1から 2009.9.30まで	当第2四半期 2010.4.1から 2010.9.30まで	前期 2009.4.1から 2010.3.31まで
売上高	4,565	7,149	10,780
売上総利益	664	1,391	1,484
営業利益又は営業損失(△)	△376	312	△539
営業外収益	121	86	203
営業外費用	69	123	102
経常利益又は経常損失(△)	△323	275	△438
特別利益	1	48	576
特別損失	25	47	70
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	△346	276	67
法人税等	32	61	59
少数株主損益調整前四半期純利益		214	
少数株主利益	5	0	3
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	△384	214	4

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2009.4.1から 2009.9.30まで	当第2四半期 2010.4.1から 2010.9.30まで	前期 2009.4.1から 2010.3.31まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△113	734	△313
投資活動による キャッシュ・フロー	59	218	△210
財務活動による キャッシュ・フロー	280	△408	△104
現金及び現金同等物に 係る換算差額	56	16	22
現金及び現金同等物の 増減額	283	561	△606
現金及び現金同等物の 期首残高	1,840	1,234	1,840
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,124	1,796	1,234

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

社名	本多通信工業株式会社
設立	1947年6月14日
資本金	1,501百万円 (2010年9月30日現在)
従業員数	単体 242名 連結 1,051名 (2010年9月30日現在)
事業内容	電子機器、通信機器、電子応用装置、 電気計測器、事務用機械および 工作機械等の電子部品の製作販売
役員	代表取締役社長 佐谷 紳一郎 (2010年9月30日現在)
	常務取締役 堀井 達男
	取締役 大西 浩司
	取締役 山本 正美
	取締役 平松 真吾
	取締役相談役 宮崎 博巳
	常勤監査役 川瀬 幸夫
	監査役 宮下 英二
	監査役 竹内 淳

事業所／グループ会社

●本社

〒152-8520 東京都目黒区目黒本町六丁目18番12号

●松本工場

〒399-8102 長野県安曇野市三郷温4604番地

●大阪営業所

〒531-0071 大阪府大阪市北区中津一丁目15番15号

●名古屋営業所

〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須四丁目9番79号
(国内)

- ・安曇野本多通信工業株式会社
- ・株式会社ホンダエンジニアリング

(海外)

- ・Honda Connectors, Inc.
- ・Honda Connectors Limited
- ・Honda Connectors(S)Pte Ltd
- ・本多電子(香港)有限公司
- ・香港本多有限公司

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	(定時株主総会) 3月31日 (利益配当金) 3月31日 (中間配当金) 9月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所
公告掲載方法 当会社の公告方法は、電子公告とします。
公告掲載URL <http://www.honda-connectors.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

【ご注意】

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

